

「海の研究」 投稿規定

1. 「海の研究」は、海洋学とその関連分野の研究成果を発表する日本海洋学会の和文学術雑誌であり、原則として年6回発行される。
2. 投稿論文は、原著論文、速報、総説、賞記念論文とし、他の学術誌に未発表かつ発表予定のないもの、または投稿中でないものに限る。本誌に掲載された原著論文、速報、総説、賞記念論文の著作権は日本海洋学会に帰属する。
3. 編集委員長の許諾がある場合をのぞき、筆頭著者は本会会員に限る。共著者は、以下のすべての条件をみたす者に限る。
 - 1) 構想およびデザイン、データ取得、データ分析および解釈において相応の貢献がある者。
 - 2) 論文作成または重要な知的内容に関わる批判的校閲に関与した者。
 - 3) 出版原稿の最終承認を行った者。
4. 論文投稿に際しては、原稿および図表のpdf (Portable Document Format) ファイルを編集委員長に送付する。投稿は無料である。投稿された論文の採否は、校閲を経て編集委員会が決定する。
5. 執筆要領（「投稿の手引き」参照）
 - 1) 原稿はワープロソフト（原則としてMicrosoft Word）を使用し、A4版の白紙に40字×25行程度になるように作成する。
 - 2) 原著論文、速報、総説、賞記念論文のはじめには、題名、著者名、所属機関名を記す。また、それぞれの英訳をつける。図、表には英文の説明をつける。
 - 3) 原著論文、速報、総説、賞記念論文には、英文要旨、和文要旨、キーワードをつける。
 - 4) 図、表、写真は原則として、EPS (Encapsulated PostScript) で作成し、投稿段階ではpdfで編集委員長に送付するが、原稿受理後は図表番号ごとに別々のEPSファイルを作成して編集委員長に送付する。図、表の横幅は75mm、または150mmとして投稿することが望ましい。
 - 5) 数式は上下に1行ずつ空けて明瞭に書く。
- 6) 脚注は用いない。
- 7) 引用文献は、本文中では「Richards(1996)によれば」、「深海(2000)によれば」、あるいは「(Richards, 1995; Richards and Broenkow, 1971)」, 「(深海, 2000; 深海・浅海, 2002)」のように引用する。著者が3人以上の文献は、「(Cox *et al.*, 1970)」, 「(深海ら, 2000)」のようにする。引用文献は、最初の著者の姓のアルファベット順に並び、次の例にしたがって、原稿末尾にまとめて記載する。

論文

宇田道隆(1966): 海況の総観的研究. 日本海洋学会誌, 22, 231–235.

Cox, R. A., M. J. McCartney, and F. Culkin(1970): The specific gravity /salinity/temperature relationship in natural sea water. *Deep-Sea Res.*, 17, 679–689.

単行本

Sverdrup, H. U., M. W. Johnson, and R. H. Flemming (1942): *The Oceans: Their Physics, Chemistry, and General Biology*. Prentice-Hall, Englewood Cliffs, N. J., 1,087 pp.

単行本の章

Richards, F. A. (1965): Chapter 6, Dissolved gases other than carbon dioxide, p. 197–225. In *Chemical Oceanography*, Vol. 1, edited by J. P. Riley and G. Skirrow, Academic Press, London and New York.

6. 投稿論文が受理された時は、下記の2点を編集委員長に提出する。

- 1) 最終原稿のMicrosoft Wordファイル
- 2) 図表のEPSファイル（図表番号ごとに別々のEPSファイルを作成したもの）とそれらの説明(英文)

7. 原著論文、速報、総説、賞記念論文の別刷は有料とし、原稿受理後に著者が直接印刷会社に申し込む。

(2015年6月)